



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
 コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 神澤 陸雄

(氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,306	13.4	3,170	51.7	3,727	60.5	2,427	68.2
25年3月期第1四半期	14,377	△7.1	2,089	21.2	2,322	9.2	1,443	7.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 175百万円 (△76.2%) 25年3月期第1四半期 737百万円 (△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	47.15	—
25年3月期第1四半期	28.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	158,735	133,981	84.3	2,598.67
25年3月期	160,028	134,784	84.1	2,614.22

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 133,757百万円 25年3月期 134,559百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	7.4	4,000	10.2	4,400	8.7	2,950	62.4	57.31
通期	63,400	1.5	7,900	1.8	8,850	0.0	5,900	17.6	114.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	56,911,185 株	25年3月期	56,911,185 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	5,439,436 株	25年3月期	5,439,210 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	51,471,824 株	25年3月期1Q	51,472,942 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売実績	9
5. 補足説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、企業間での市場競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、景気の持ち直し感が出始めている中で、企業におけるIT投資及び設備投資意欲が徐々に改善されてきてはいるものの、個人消費が伸び悩むなど、実体経済への波及にまでは至らず依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	14,377	16,306	13.4
営業利益 (百万円)	2,089	3,170	51.7
経常利益 (百万円)	2,322	3,727	60.5
四半期純利益 (百万円)	1,443	2,427	68.2

医薬品事業の売上高は、145億7千6百万円（前年同期比11.7%増）となりました。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」、腎性貧血治療薬「エボエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス\*配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしましたほか、国内販売提携先への供給額が増加いたしましたことなどにより増収となりました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアクタビス社（本年1月にワトソン社より社名変更、アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成ならびに発売に向けた準備を進めておりますほか、他の技術導出先各社におきましても製品育成が図られております。

その他の事業の売上高は、17億3千万円（前年同期比29.9%増）となりました。情報サービス業、物品販売業、建設請負業それぞれにおきまして増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇がありましたものの、増収による増益要因に加え、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べほぼ同額となりましたことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,587億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千2百万円減少しました。流動資産はたな卸資産が減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、19億2千7百万円増加し941億8千9百万円となりました。固定資産は投資有価証券が時価評価により減少したことなどにより、32億1千9百万円減少し645億4千5百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は247億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少しましたが、流動負債「その他」に含まれる未払費用が増加したことなどにより、7億4千5百万円増加し163億2千2百万円となりました。固定負債は繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億3千5百万円減少し84億3千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は利益剰余金が増加しましたが、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億3百万円減少し1,339億8千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.1%から84.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,937	25,076
受取手形及び売掛金	25,005	25,436
有価証券	27,344	27,359
商品及び製品	5,197	5,089
仕掛品	355	298
原材料及び貯蔵品	5,570	5,446
繰延税金資産	2,030	2,284
その他	2,824	3,202
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	92,262	94,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,881	36,909
減価償却累計額	△26,271	△26,469
建物及び構築物（純額）	10,610	10,440
土地	13,190	13,112
建設仮勘定	552	1,288
その他	14,396	14,374
減価償却累計額	△12,222	△12,338
その他（純額）	2,173	2,036
有形固定資産合計	26,527	26,877
無形固定資産	818	758
投資その他の資産		
投資有価証券	38,091	34,595
繰延税金資産	423	435
その他	1,954	1,927
貸倒引当金	△49	△50
投資その他の資産合計	40,419	36,909
固定資産合計	67,765	64,545
資産合計	160,028	158,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,882	4,297
短期借入金	2,001	2,021
未払法人税等	1,992	1,584
賞与引当金	2,153	972
その他の引当金	580	519
その他	3,967	6,927
流動負債合計	15,577	16,322
固定負債		
長期借入金	1,525	1,475
繰延税金負債	3,100	1,903
退職給付引当金	4,199	4,215
役員退職慰労引当金	119	122
資産除去債務	101	101
その他	619	612
固定負債合計	9,666	8,431
負債合計	25,244	24,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	83,832	85,281
自己株式	△8,681	△8,682
株主資本合計	123,761	125,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,797	8,547
その他の包括利益累計額合計	10,797	8,547
少数株主持分	225	223
純資産合計	134,784	133,981
負債純資産合計	160,028	158,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	14,377	16,306
売上原価	4,479	5,317
売上総利益	9,897	10,988
返品調整引当金戻入額	17	14
返品調整引当金繰入額	15	15
差引売上総利益	9,900	10,988
販売費及び一般管理費	7,810	7,817
営業利益	2,089	3,170
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	283	351
有価証券評価益	—	194
その他	21	18
営業外収益合計	315	575
営業外費用		
支払利息	9	11
有価証券評価損	64	—
為替差損	3	6
その他	5	1
営業外費用合計	83	19
経常利益	2,322	3,727
特別損失		
投資有価証券評価損	111	—
減損損失	0	78
その他	0	0
特別損失合計	112	78
税金等調整前四半期純利益	2,209	3,649
法人税、住民税及び事業税	1,045	1,436
法人税等調整額	△266	△212
法人税等合計	779	1,223
少数株主損益調整前四半期純利益	1,430	2,425
少数株主損失(△)	△12	△1
四半期純利益	1,443	2,427



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,430	2,425
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△692	△2,249
その他の包括利益合計	△692	△2,249
四半期包括利益	737	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750	177
少数株主に係る四半期包括利益	△12	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	13,045	13,045	1,332	14,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	839	839
計	13,045	13,045	2,171	15,216
セグメント利益又は損失(△)	2,158	2,158	△109	2,048

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,158
「その他」の区分の利益	△109
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	26
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,089

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	14,576	14,576	1,730	16,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	791	791
計	14,576	14,576	2,522	17,098
セグメント利益	3,139	3,139	10	3,150

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,139
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	3
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	3,170

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	2,241	15.6	2,799	17.2	557	24.9
神経系用薬	65	0.5	66	0.4	0	1.4
感覚器官用薬	491	3.4	345	2.1	△145	△29.7
循環器官用薬	1,893	13.2	1,788	11.0	△104	△5.5
消化器官用薬	752	5.2	788	4.8	36	4.8
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	4,159	28.9	4,803	29.5	643	15.5
アレルギー用薬	461	3.2	409	2.5	△52	△11.4
その他	2,980	20.7	3,575	21.9	595	20.0
報告セグメント計	13,045	90.7	14,576	89.4	1,530	11.7
その他の事業	1,332	9.3	1,730	10.6	398	29.9
合計	14,377	100.0	16,306	100.0	1,929	13.4
(うち輸出高)	(1,362)	(9.5)	(1,350)	(8.3)	(△11)	(△0.8)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## 5. 補足説明資料

### (1) 連結決算概要

(百万円)

項目	平成25年3月期		平成26年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
売上高	14,377	62,491	16,306	13.4%	31,500	63,400
営業利益 (売上高比%)	2,089 (14.5)	7,761 (12.4)	3,170 (19.4)	51.7%	4,000 (12.7)	7,900 (12.5)
経常利益 (売上高比%)	2,322 (16.2)	8,849 (14.2)	3,727 (22.9)	60.5%	4,400 (14.0)	8,850 (14.0)
当期純利益 (売上高比%)	1,443 (10.0)	5,019 (8.0)	2,427 (14.9)	68.2%	2,950 (9.4)	5,900 (9.3)
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費) (売上高比%)	7,810 (2,232) (15.5)	33,586 (10,312) (16.5)	7,817 (2,322) (14.2)	0.1% (4.0%)	17,100 (5,200) (16.5)	34,600 (11,100) (17.5)
輸出高	1,362	4,018	1,350	△ 0.8%	1,620	3,400

### (2) 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	平成25年3月期		平成26年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,720	11,714	3,315	21.9%	6,440	13,090
糖尿病治療薬 グルファスト	931	3,447	837	△ 10.1%	1,680	3,490
糖尿病治療薬 グルベス	368	1,694	589	60.0%	1,120	2,390
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	293	1,140	314	7.4%	600	1,190
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	940	4,426	1,371	45.8%	2,580	5,300
高脂血症治療薬 ベザトール	1,582	5,947	1,502	△ 5.1%	2,830	5,460
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	992	4,012	1,018	2.6%	2,030	3,870
脳循環改善薬 キサンボン	310	1,219	286	△ 7.9%	570	1,100
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	306	2,329	167	△ 45.3%	780	1,780
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	398	1,606	355	△ 10.8%	780	1,540
気管支喘息治療薬 ドメナン	63	226	53	△ 14.9%	100	200
血液凝固阻止剤 フラグミン	118	466	115	△ 3.2%	210	400
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液	146	553	133	△ 8.7%	260	510
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	152	687	191	25.3%	340	660
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	175	641	163	△ 6.9%	320	610

### (3) 新薬開発状況(自社)

(平成25年8月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	グルファスト <sup>®</sup> ／ ミチグリニド	創製品	2型糖尿病(DPP-4阻害剤、ビッグアナイド系薬剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	デクスラゾキサン／ KDX-0811	導入品／ノルジーン(オランダ)	アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出	トポイソメラーゼⅡ阻害作用	
	サラジェン <sup>®</sup> ／ ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
第Ⅲ相	PA21	導入品／ビフォーファーマ (スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅱ相	オザグレル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	KWA-0711	創製品	慢性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
	エポエチンアルファ BS注「JCR」／ JR-013sc	導入品／日本ケミカルリサーチ 共同開発	腎性貧血、自己血貯血	赤血球増加作用	バイオ後続品 高単位製剤
	ユリーフ <sup>®</sup> ／ シロドシン	創製品／第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	剤形追加 (OD錠)

※前回公表時(平成25年5月)からの変更点: ①サラジェン(剤形追加)…申請準備中→承認申請中、②KPS-0373…第Ⅱ相→第Ⅲ相、③ユリーフ(効能追加)…開発中止により削除

## (4) 新薬開発状況(導出)

(平成25年8月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン ※1	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、スリランカ ※2	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※前回公表時(平成25年5月)からの変更点: ①ミチグリニド(インド/USV)及び②KGA-3235(グラクソ・スミスクライン)…開発中止により削除

※1: 発売: タイ、承認: フィリピン、申請中: 4カ国

※2: 承認: タイ、申請中: アセアン2カ国、インド